

2016/5/26

コラーゲンペプチドの「光老化」抑制に関する動物試験の論文が韓国の科学雑誌 (Journal of the Korea Academia-Industrial cooperation Society) に掲載されました

「光老化」モデル(紫外線照射による皮膚老化)マウスに、コラーゲンペプチドを摂取させることによる、皮膚の水分量、赤味、シワへの有効評価試験を行いました。

その結果、コラーゲンペプチドを12週間経口摂取することにより、マウス皮膚の水分量向上および赤味、シワの面積が減少することが確認されました。また、紫外線によって惹き起こされる炎症性マーカーの有意な減少や、皮膚の肥厚化も有意に抑制されることが確認されました。

これにより、コラーゲンペプチド摂取による「光老化」抑制が示唆されます。

詳しい内容に関しては <http://jkais99.org/journal/Vol17No3/p71/39u/39u.pdf> をご参照ください。